

(資料 8) 二国間協定等の枠組み下での共同研究

我が国政府と外国政府間で締結されている二国間協定（科学技術協力及び環境保護協力分野）等の枠組みの下で、10カ国を相手国として、合計35件の国際共同研究を実施している。なお、この他、外国機関との間で独自に覚え書き等を締結して国際共同研究等を実施しているものが、6カ国、1国際機関を相手側として、10件ある。

国名	課題名	相手先研究機関名等
カナダ (2件)	北太平洋における大気・海水間の二酸化炭素交換の研究	海洋科学研究所
	北太平洋海域における化学物質の動態解明	ブリティッシュコロンビア大学
中国 (12件)	中国の国情に合う排水処理プロセスの開発に関する研究	環境科学研究院
	中国の国情に合う高効率低コスト新排水高度処理技術の開発に関する研究	国家環境保護総局環境工程研究所・清華大学
	中国の国情に合う土壌浄化法を組み込んだ生活排水高度処理システム開発に関する研究	中国科学院沈陽応用生態研究所
	東アジアにおける酸性雨原因物質排出制御手法の開発と環境への影響評価に関する研究	国家環境保護総局
	中国大湖流域のバイオ・エコエンジニアリング導入による水環境修復技術開発に関する研究	中国環境科学院
	ダイオキシンの発生源と汚染状況の解明等に関する研究	日中友好環境保全センター
	貴州省紅楓湖、百花湖流域における生態工学を導入した富栄養化抑制技術の開発に関する研究	貴州省環境保護科学研究所
	黄砂飛来ルートの解明に関する共同研究	日中友好環境保全センター
	ヒ素汚染による健康影響に関する分子易学的研究	中国予防医学院
	生活排水処理過程で発生する温室効果ガスの生物学・生態工学を活用した抑制技術の開発に関する研究	上海交通大学環境科学与工程学院
	中国のVOCs及びアンモニアの排出に関する研究	環境科学研究院
	水利構造物による淮河流域の水環境劣化の実態把握と対策に関する研究	中国科学院地理科学资源研究所陸地水循環と地表プロセス重点実験室
チェコ (2件)	酸性・環境汚染物質による生態系の汚染と影響に関する研究	景観・生態学研究所
	景観認識に関する研究	景観・生態学研究所
フランス (2件)	植物の環境適応機構の分子生物学的研究	ピカルデー大学
	大西洋及び太平洋域における微細藻類の多様性に関する研究	カーン大学
韓国 (5件)	定期航路船舶を利用した海洋汚染に関する研究	海洋研究所
	北東アジアにおける大気中の酸性・酸化性物質の航空機・地上観測	韓国科学技術研究院環境研究センター
	景観評価の国際比較（日本列島と朝鮮半島を例として）	国立慶北大学校
	有害藻類の発生現況モニタリングと窒素、リン除去対策に関する研究	国立環境研究院
	環境に起因する疾患の予防及び管理に関する研究	国立環境研究院
ポーランド (1件)	植物の大気環境ストレス耐性の分子機構に関する研究	育種馴化研究所
ロシア (4件)	凍土地帯からのメタン発生量の共同観測（環）	凍土研究所
	湿地からのメタン放出のモデル化に関する共同研究（環）	微生物研究所
	シベリアにおける温室効果気体の航空機観測（環）	中央大気観測所
	シベリア生態系の影響を受けた温室効果気体の観測	大気光学研究所

国名	課題名	相手先研究機関名等
スウェーデン (2件)	人間活動の増大に伴う重金属暴露の健康リスク評価	カロリンスカ研究所
	地中海における海洋表層の二酸化炭素分圧測定	エーテポリ大学
イギリス (1件)	加速器質量分析法とクロマトグラフィーの結合による放射性核種測定方法の高度化に関する共同研究	オックスフォード大学
アメリカ合衆国 (4件)	海洋のCO ₂ 吸収量解明に向けた太平洋のCO ₂ 観測の共同推進	海洋大気局 (NOAA)
	衛星による温室効果ガス観測に関する共同推進	ジェット推進研究所 (NASA)
	森林による炭素固定能力評価とその変動予測のためのフラックス観測共同実施	エネルギー省 (DOE)
	炭素、その他の温室効果ガス、エアロゾルの陸域／海洋での収支推定のための大気成分比較・標準化・相補観測	海洋大気局 (NOAA)

- (注) 1. 一部のプロジェクトについては採否が協議中のものがあり、数が確定していない。
2. 相手先研究機関名等は国際共同研究承認時点の旧組織名で示されている場合がある。